

Society 5.0実現への挑戦 ～日立市共創プロジェクトから日本を元気に～

2025年3月19日

株式会社 日立製作所
ひたち協創プロジェクト推進本部 佐野 豊

ひたち協創プロジェクト推進本部 本部長

佐野 豊

1994年に日立製作所大みか事業所 入社

交通やエネルギーなどのミッションクリティカルな社会インフラにおける
制御システム、コンポーネント開発、サービス事業に従事。

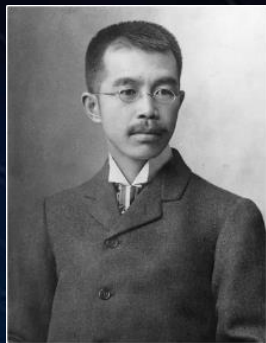
多様化する社会課題の解決に向けた社会イノベーション事業として、
複合的なソリューションであるスマートシティ事業にチャレンジ中。

柏の葉スマートシティプロジェクトでの経験も活かし、現在、創業の地である
日立市とともに推進する「次世代未来都市の実現に向けた
共創プロジェクト」の推進リーダーを務める。

Contents

1. 日立製作所創業の歴史と地域づくり、めざす社会像
2. まちづくりプロジェクト事例
3. ひたち共創プロジェクトの取り組み

日立市で始まった日立製作所の挑戦の歴史



創業者 小平浪平

1910年

久原鉱業所日立鉱山付属の
機械修理工場として、
茨城県日立市にて創業



創業小屋



5馬力モーター

1万馬力水車の制作



大型コンピュータの
開発・提供



英国に高速鉄道車両を納入



鉄道などの管理システム



社会イノベーション事業

データとテクノロジーで顧客とともに
社会課題を解決



ストレージ仮想化技術の
開発



都市のインフラ整備



技術・製品による社会貢献の原点に立ち戻り、社会イノベーション事業にシフト

特別な絆のもと、110年以上にわたり地域社会と共生・発展



1910年 日立市で創業

「優れた自主技術・製品の開発を通じて
社会に貢献する」企業理念



日立鉱山とともに発展

世界一(当日)の高さを誇る大煙突があった
日立鉱山とともに住民と企業の共存共栄へ



地域のインフラ整備に注力

水道や電鉄・バス会社の設立、
日立病院の開院など



日立工業専修学校

モノづくりのプロをめざす



茨城大学工学部

高度技術者・研究者を育てる



日立理科クラブ

世界に通じる理数教育の充実

データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現して人々の幸せを支える



「顧客協創型」から「地域協創型」へ

2.まちづくりプロジェクト事例

世界に広がる日立のスマートシティへの取り組み

世界各地の市民や自治体、教育機関や企業との協創により、
データを活用したスマートシティづくりで生活の向上に貢献

スマートモビリティ
人流データ解析による
コペンハーゲンメトロの
運行ダイヤ最適化の実証

デンマーク/コペンハーゲン



スマートビルディング
超高層複合ビル「広州周大福金融中心」に
世界最高速エレベーター*1納入

中国/広州



スマートファイナンス
高付加価値決済サービス提供により
キャッシュレス化を推進する
「Digital India」施策に貢献

インド



スマートインダストリー・エネルギー
「Lumada Center Southeast Asia」
(2018年開設) にて、
幅広い分野で官民との協創を推進

タイ/チョンブリー・バンコク



スマートエネルギー
CO₂を排出しない
水素エネルギーの活用による
サプライチェーンの構築を実証

日本/福島県浪江町



スマートシティ

創業の地である日立市との共創プロジェクトにて
Society 5.0の実現により、すべての市民が豊かに
暮らせる「サステナブルなまち」づくりをめざす

日本/茨城県日立市



スマートライフ

産官学の協創で未来都市像を描く
「日立東大ラボ」

日本/東京



スマートエネルギー

「柏の葉スマートシティ」にエリアエネルギー管理システム
(AEMS)を導入しCO₂排出を抑制

日本/千葉



スマートライフ

西シドニー地域に開発予定のスマートシティ内に
協創センターを開設予定

オーストラリア/ニュー・サウス・ウェールズ州



写真提供: WPCA*

スマートモビリティ
オープンイノベーションによる
自動運転技術の開発

米国/ミシガン州



デベロッパ、自治体、大学、市民の「公・民・学」連携により新しい社会を検討

「世界の未来像」をつくる街

3つの街づくりテーマを設定

環境共生

人と地球にやさしく災害にも強い街

健康長寿

すべての世代が健やかに安心して暮らせる街

新産業創造

日本の新しい活力となる成長分野を育む街





2005年

つくばエクスプレス開業（柏の葉キャンパス駅）



2014年

柏の葉スマートシティ街びらき

柏の葉が持つ立地特性

「集積する最先端の知」と「豊かな自然環境」を活用した街づくり



KOIL 柏の葉
オープンイノベーションラボ



「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」を
地域で総合的に推進

国家的モデル事業

「地域活性化総合特区」「環境未来都市」として、国策と連動した街づくり



親水公園（調整池）
“Aqua Terrace”

ステークホルダーとともに、人間中心の街づくり



みんなの
まちづくり
スタジオ
KASHIWA-NO-HA
一緒に未来を動かそう。



さまざまな地域・テーマで社会イノベーションを推進してきた実績・ノウハウをもとに
共創プロジェクトを推進していく

エネルギー 利用の革新



健康は 治療から予防まで



誰もが快適に 移動できるモビリティ



知
見
を
適
用

Society 5.0の実現
日立市 次世代未来都市

3. ひたち共創プロジェクトの取り組み

人 口 **165,914人**

(男性 82,980人、女性 82,934人)

世帯数 **81,423世帯**

事業所数 **6,292** (内製造業283社)

人口減少

- ・ 人口流出 (雇用口減)
- ・ 出生率低下

高齢者の増加

- ・ 高齢者福祉の不足
- ・ 認知症・フレイル対策不足

公共交通の減便

- ・ 幹線道路の交通渋滞
- ・ 山側地区高齢者の分断

地球温暖化対策

- ・ 地域の脱炭素化
- ・ 地域企業のグリーン競争力確保

市のCO₂排出量68%が産業部門からの排出 (2019年)

地理的な課題

複合的な課題地域

「人口」、「世帯数」は令和6年4月1日現在 (日立市ウェブサイトより)。「事業所数」は令和3年6月1日時点。

次世代未来都市共創プロジェクトの推進テーマ



日立グループのOT・プロダクトを支える主要な事業所が集結 南北縦長の地形による課題・難しさがある



山側に住宅地が密集



共同プロジェクトルーム設置



市イベント出展・意見交流



エコフェスひたち2024

市イベント参加



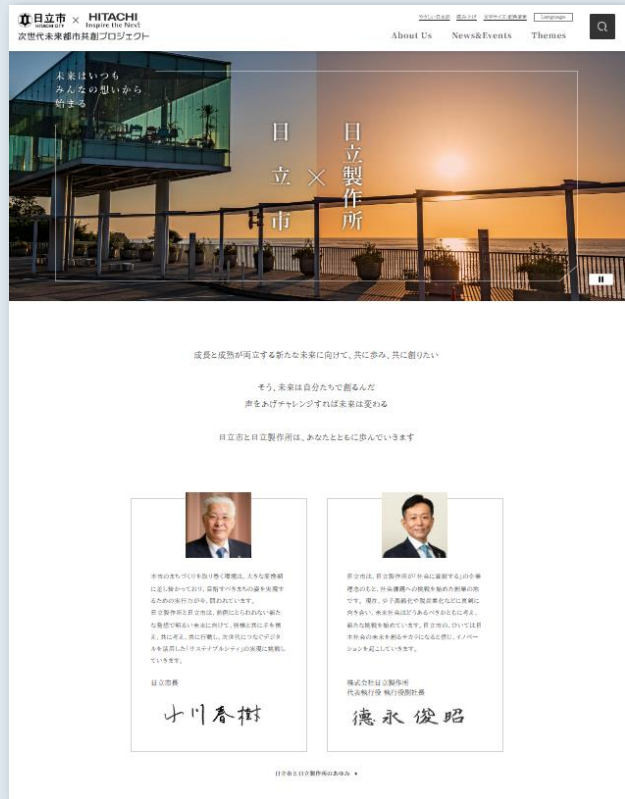
ラジオ体操 日立市長杯

ひたちシーサイドマラソン



産業祭2024

ホームページを立ち上げ。広く市民の方々の声を拾い上げる重要な場



病院の待ち時間短縮してほしい。高齢の親を病院に送迎するのが楽になってほしい。



自家用車ではなく、みなが公共バスなどに乗って通勤できるサービスを充実してほしい。



道路に、専用歩道・専用車道を設定し、太陽光発電を設置してはどうでしょうか。

市民が置いてけぼりにならないようにしてほしい。

どういうことに取り組んでるのか、情報発信して欲しい。

住民自身が中心となって、課題と向き合い、ともに考え、
みんなの力で誰もが快適に暮らせる時代をつくる

市民参加型の地域協創で認知 → 共感 → 行動へ



Society 5.0

バランスの時代

人々はテクノロジーを通じてつながり、
成長の陰で生じる問題をすくい上げる

地球環境も守る

社会問題を解決

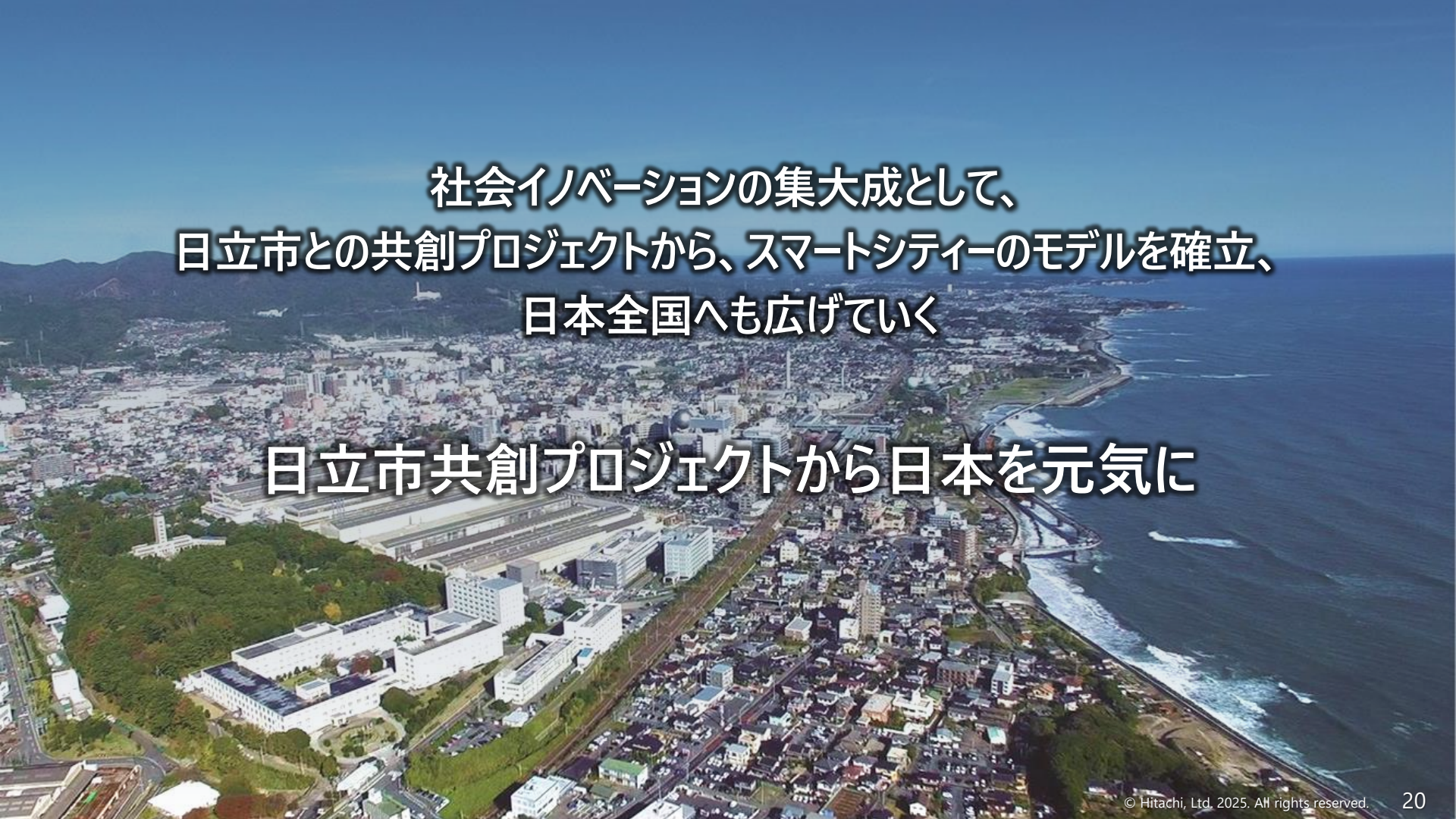
コミュニティと協力

私たち



あなた

自らの幸せと他の幸せを一緒に叶える



社会イノベーションの集大成として、
日立市との共創プロジェクトから、スマートシティのモデルを確立、
日本全国へも広げていく

日立市共創プロジェクトから日本を元気に



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD